

ふれあい さいせい



発行
済生会西条病院
 2009年新春号 第42号
 西条市朔日市269-1
 TEL (0897) 55-5100



東温市 白猪の滝 撮影：臨床検査科 技師 青野拓也

2009年を迎えて

(電子カルテとオーダリングを導入します)

院長 岡田 眞一

電子カルテシステムの導入について

副院長 外科部長 石井 博

糖尿病療養指導士について

薬局係長 伊藤 三恵

おもてつき

いしづち苑 介護福祉士 藤岡 準平

いしづち苑の初詣

いしづち苑 看護師 土野 聖子

済生会西条病院 医師紹介

文化祭

いしづち苑 介護福祉士 松村 紀典

ニューフェイス

2009年を迎えて(電子カルテとオーダリングを導入します) 院長 岡田 眞一

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、病院創立50周年という記念すべき年でした。今年は、その50年という節目から、更なる発展を目指して、第一歩を踏み出す大事な年となります。

さて、今世界は100年に一度と言われる金融危機に突入し、その影響は日本のいろいろな分野に及んでいます。また、医療においても、地方では相変わらず医師・看護師不足という厳しい状況が続いています。このような今の日本の状況に、危機感を抱かずにはおられません。しかし、このような時こそ、自分の足場をしっかりと固めていく必要があります。地域で信頼され、しかも開かれた病院となるよう、医療レベルを上げ、院内職員のモチベーションアップとお互いに協力し合える組織作りに努めていきたいと思えます。

まず、電子カルテとオーダリングの導入です。昨年12月開始予定でしたが、準備不足で、2月1日からの開始となります。スムーズな導入を期待します。開始後数ヶ月間は、患者さんにご迷惑をお掛けするかもしれません。大変申し訳ありませんが、ご協力をお願い致します。

今年も、職員一同力を合わせて頑張っていきたいと思っておりますので、どうか宜しくご支援の程をお願い申し上げます。



院長
 岡田 眞一

電子カルテシステムの導入について

副院長 外科部長 石井 博

日頃から診察・会計・薬の受け取りなどに際しお待たせすることが多く、大変申し訳ございません。

当院は1人1カルテで対応しており、カルテの移動などで時間を要しておりました。これらを解消するため、本年2月1日からコンピュータによる電子カルテシステムを導入いたしました。

運用開始後6ヶ月間程度は、医師がコンピュータ入力に不慣れなため、診察時間の遅延が見込まれますが、平成21年8月以降は待ち時間の短縮が十分に見込めます。それまでの間、みなさまにはご迷惑をおかけいたしますが、お許しの程お願い申し上げます。

また運用開始後1ヶ月間は、医師および看講師への操作指導のために電子カルテシステムのスタッフが診察室に在駐しております。患者さんのプライバシー保護には十分努めますので、何卒ご理解の程お願い申し上げます。

なお、2月1日より、会計の方法および薬の受け取りの方法が変わります。看護師および事務職員が適宜お知らせいたしますので、ご協力お願い申し上げます。



糖尿病療養指導士について

薬局係長 伊藤 三恵

糖尿病療養指導士(CDE)は、糖尿病に関する広く正しい知識と治療に関する新しい技術を持って、患者さん自身がより良い自己管理が出来るように援助していきます。当院では、愛媛CDE(地域糖尿病療養指導士)と日本CDE(日本糖尿病療養指導士)が患者さんの療養に対して支援できるように日々努力しています。

お気軽にお声をかけてください。





おモチつき

いしづち苑 介護福祉士 藤岡 隼平

初冬とは思えないような、柔らかな陽ざしの平成20年12月10日、いしづち苑4階テイルームの中央に石臼が据えられ、ハッピを着たイケメンの若い衆が勢揃いしました。

入所者さんの何人かも、ハッピを着て、今や遅しとおモチつきを待っています。

そして、ふかしたモチ米が、臼の中に入れられ、いよいよおモチつきの始まりです。

「ヨイショ！ヨイショ！」「ペッタン・ペッタン」

入所者さんの中には、おモチを丸めながら、誘惑に勝てず、思わず食べてしまわれた方もいて、笑顔の輪が広がりました。

以前には、年の瀬になると、どこの家庭からも、おモチつきの威勢の良い音が聞こえていましたが、最近は、殆ど聞かれなくなっていました。

年の瀬の いしづち苑の おモチつき
若き日しのび 思ひ出あふる

その後、おやつの中には、つきたてのおモチをぜんざいに入れ、入所者さんに喜んでいただき、楽しい一日となりました。



いしづち苑の初詣

いしづち苑 看護師 土野 聖子

新年明けましておめでとうございます。

平成21年の丑年が明けて、松の内の1月7日、いしづち苑4Fテイルームに、紅白の幕が張り巡らされ、優雅な雅楽が流れております。

そうです！今日は、いしづち苑の初詣の日です。

テイルーム入り口には、職員が夜なべで新装した、朱塗りの鳥居が出現し、鳥居の奥には、神社本殿が描かれた大画が飾られました。

そして、いよいよ朱塗りの鳥居をくぐって、神社本殿への参拝となります。入所者さんに、通所利用者さんも加わって、100名近くの大人数となりました。

子を育て 孫を見守り 幾春秋
幸せ祈り ただ手を合わす

参拝の後は、「丑舞い」ならぬ「獅子舞い」の登場です。美空ひばりさんの「お祭りマンボ」に乗って、高く、低く、右に、左に、利用者さんの幸せを願って、舞い踊る「獅子舞い」に、手拍子が沸き上がりました。

やがて♪お祭りすんで～日が暮れて～♪の歌詞と共に「獅子」が寝てしまうと、爆笑のうちに、フィナーレとなりました。

丑年の いしづち苑の 初詣
今年はきっと 良いことあるよ



文化祭

いしづち苑
介護福祉士 松村 紀典

文化祭は、夏の夕涼み会と並ぶ、いしづち苑の二大行事の一つであり、60数名の職員全員が、心を一つに力を合わせて取り組む、一大イベントとなっております。

平成20年11月23日（日）に開催しましたが、この日は、さわやかな秋晴れに恵まれ、多くのご家族や利用者さんの笑顔に出会えることが出来ました。

バザー会場では、ご家族と笑顔で食事をされる利用者さんを目にし、この日のために頑張ってきて良かったなあと思いました。



呼び物の演芸では、午前部では、ハワイアン・メロデーに乗せて、流れるように優雅に踊るフラダンスにより、しばしの間、ヤシの葉陰で憩うことができました。

午後部の「手品ショー」は、まさに圧巻！コップの水が、消えたり現れたり、利用者さんが引いたトランプが、見事に当たったり、最後に本物の鳩が飛び立った時は「やんや、やんや」の大喝采となりました。

終りは、賑々かな「銭太鼓」で締めくくっていただきました。

深まる秋の一日が、楽しい思い出いっぱいの日となりましたことを、皆様に感謝申し上げます。



「ありがとう」 その一言に癒されて
日々の介護に 又精を出す

(NHK介護百人一首)